

文部科学大臣賞 壁新聞



タイトル：「オオタカの生態新聞」

クラブ名：いきものみつけファームin松本推進協議会（長野県松本市）

消費者庁長官賞 壁新聞

[illegible]

タイトル：「三ツ星エコラボ（研究室）新聞」
クラブ名：三ツ星エコクラブ（新潟県魚沼市）

2020年度「全国エコ活コンクール」 日本環境協会賞 壁新聞



三重中学校・高等学校 科学技術部の活動

三重中学校 3年 高橋 穂
五島 虹星

科学技術部
マスコットキャラクター
ウミナガ

私たち科学技術部は三重県松阪市の松名瀬干潟で活動しています。干潟って？

干潟とは...

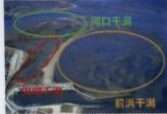


干潟は潮の満ち引きによって水面から出たり隠れたりする砂泥地。

1日2回、6時間ごとに満潮と干潮が入れ替わる。

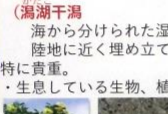
・松名瀬干潟
干潟の典型である3つの干潟が全てそろっている。
→全国的にもとても貴重！
絶滅が危惧されている生物も多く観察される。

河口干潟



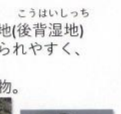
河口に砂や泥がたまるところ。
地形が変わりやすい。
・生息している生物。
ハマガニ、オカミミガイ など...

満潮干潟



海から分けられた湿地(後背湿地) 陸地に近く埋め立てられやすく、特に貴重。
・生息している生物、植物。
ハマボウ、ハクセンシオマキキ (絶滅危惧種)、ヤマトオサガニ など...

前浜干潟



海に面している。漁業や潮干狩りが行われている。
・生息している生物、植物。
アサモ、アサの葉、アサの葉など...

松名瀬での活動
科学技術部は、主に四種類のウミナガ類を対象として生物相調査を毎月一回行っている。
この調査は先輩方から後輩に受け継ぐ形で続いていて今年で10年目になる。

・調査対象であるウミナガ類

ホソウミナガを除いて
準絶滅危惧種
(準絶滅危惧種)



ホソウミナガ
(*Uca longirostris*)



ウミナガ
(*Uca*)



ウミナガ
(*Libinia*)

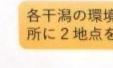


ウミナガ
(*Libinia*)

・調査手順



各干潟の環境の違う場所に2地点を設置。



各地点ごとに5か所、50cm×50cm枠の中の地表の生物を採集。



直径15cm、深さ20cmの砂泥を2mmメッシュのふるいにかけて地中の生物を採集。



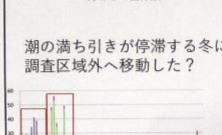
生物の種類と数、大きさを測り記録する。

蓄積したデータからわかること。



ウミナガ類は、夏にかけて増え冬にかけて減っている。
冬に死んでしまった？
春にも大きな個体が確認できている。
産卵は初夏に行われる。(風呂田ほか、2002)

湖の満ち引きが停滞する冬に調査区域外へ移動した？



2012年2月頃からウミナガ・フトヘナタリ→減少
ホソウミナガ・ヘナタリ→増加
何故？
近くで護岸工事をしていたことが判明。
変化した環境はヨシ原の消失のみ。

フトヘナタリが減少したのはヨシ原の消失が原因と考えられる。
ほかの種に関しては飼育実験を行い研究中。

環境教育活動
僕たちは松名瀬干潟の豊かな環境を多くの人知ってもらうため、いろいろなところで活動内容や松名瀬の現状をお伝えしています。
これまでに19か国、のべ4000人以上に実施しました。

・松名瀬干潟での環境教育



地元小学校への出前授業



松名瀬干潟で拾った貝殻と、メダカ、森のマツボックリなどを使って、海と森のつながりを感じてもらおう。

・いろいろなイベントの参加



松名瀬干潟で拾った貝殻と、松阪水産でキーホルダーを作ってもらい、海を身近に感じてもらう。



日本環境教育学会



日本生物教育学会

・学会などでの研究発表

様々な人とのかわり
海の研究活動では、三重大学の教授の方や、漁協の方、環境教育の場面では、地元の学校の先生や、児童館の方、さらには、博物館の方など多くの人の協力を得て私たちの研究が可能だったり、多くの方々に知っていただくことができます。

このようにいろいろな人の協力があるから、私たちの活動ができるということを忘れずに、これからも一生懸命活動していきたい。

三重県 松阪市 科学技術部

24-02 19 科学技術部

タイトル：「三重中学校・高等学校の科学技術部の活動」
クラブ名：三重中学校・高等学校 科学技術部（三重県松阪市）

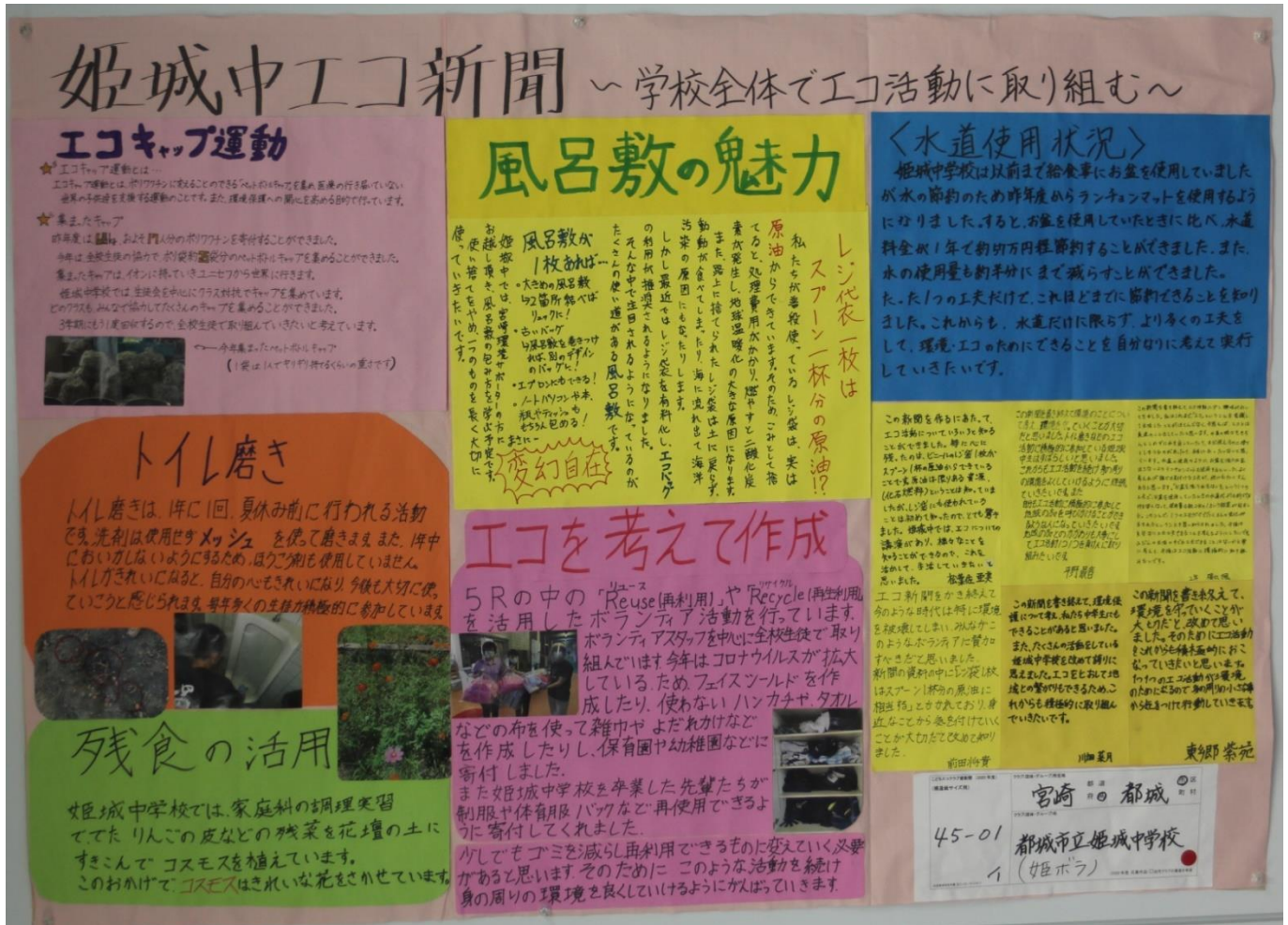
2020年度「全国エコ活コンクール」
こくみん共済 coop 賞 壁新聞



タイトル：「多様性の海へ」

クラブ名：南三陸少年少女自然調査隊（宮城県南三陸町）

2020年度「全国エコ活コンクール」
タカラトミー賞 壁新聞



タイトル：「姫城中エコ新聞 ～学校全体でエコ活動に取り組む～」
クラブ名：姫城中学校 姫ボラ（宮崎県都城市）

2020年度「全国エコ活コンクール」
 幼児部門 ミールケア・エコまる賞 壁新聞①



タイトル：「エコしんぶん」

クラブ名：神楽こども園 りんごキッズ（兵庫県神戸市）

2020年度「全国エコ活コンクール」
 幼児部門 ミールケア・エコまる賞 壁新聞②



タイトル：「稲の観察日記」

クラブ名：認定こども園たから幼稚園こどもエコクラブ（福岡県大牟田市）

◆幼児部門について

保育園や幼稚園のクラブなど、メンバー全員が幼児のクラブの壁新聞は、別途幼児部門として審査を行い、「ミールケア・エコまる賞」を授与します。

受賞クラブの活動場所にこどもエコクラブイメージキャラクター「エコまる」が出向いて、子どもたちと一緒に楽しい体験プログラムを行います。

優秀賞 絵日記①

タイトル：とびだせ！ごみレンジャー

クラブ名：とよはるエコクラブ

氏 名：渋谷 愛菜（しぶや あいな）
（埼玉県春日部市）



タイトル：だっこく

クラブ名：認定こども園
たから幼稚園こどもエコクラブ

氏 名：松本 栞愛（まつもと かな）
（福岡県大牟田市）



2020年度「全国エコ活コンクール」 優秀賞 絵日記②

タイトル：磯観察 7月

クラブ名：せいわエコクラブ

氏 名：増田 優果（ますだ ゆうか）
（大阪府大阪市）



タイトル：食べれるエコトレイ

クラブ名：成徳エコクラブ

氏 名：井奥 貴之（いのおく たかゆき）
（鳥取県倉吉市）

